

# CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者:末永 健

編集者:情 宣 部

**酷暑のなか、現場社員の奮闘が生み出した！**  
**夏季輸送(お盆期間)ご利用状況は・・・**

**対前年比 147% !**



**コロナ前の2018年度比でも約9割に**  
**回復！第1四半期決算も「増収増益」！**

**2023年度年末手当のたたかいはスタート**  
**しています！この成果に胸を張ろう！**

JR東日本が8月18日にプレスリリースした「お盆期間のご利用状況について」によると8月10～17日(8日間)の新幹線・在来線のご利用状況は348.3万人と前年比147%となりました。

千葉支社においても、特急列車のご利用状況は17.5万人で対前年比215%、特に成田エクスプレス号についてはコロナウイルスの「5類移行」の影響を受け、対前年比382%と前年に比べ大きく増加しています！

コロナ前の2018年に比べると70～80%の回復ですが、それでも多くのお客さまがご利用されたこと、そして酷暑が毎日続くなか、現場で働く私たちの頑張りがこの結果を生み出したことは間違いありません！みなさん、この成果に胸を張ろう！

**何度も言います！私たちの要求は年間最低**  
**6.0ヶ月以上の期末手当水準に戻すこと！**

私たち東日本ユニオンは2023年度夏季手当のたたかいにおいて「年間最低6.0ヶ月以上の支給水準に戻すこと」を要求に運動を進めてきました。職場で働くJR労働者から寄せられた声の多くは「ボーナスはコロナ前の水準に戻して欲しい！」「仕事量と物価上昇が見合っていない」という悲痛な叫びでした。そんな中で「2023年度夏季手当の会社回答2.65ヶ月」を私たちは忘れていません！年間最低6.0ヶ月以上には**単純計算で残り3.35ヶ月以上**。第一四半期決算は対前年比185%の増収増益です！そしてお盆期間のご利用状況・・・会社は順調に収入を増やしています！決して出せない数字ではないと思いませんか？もう一度言います！私たちと一緒に声を上げ、コロナ前の生活水準に戻していこう！